モジャコ情報(漁場一斉調査) 愛媛県農林水産研究所 水産研究センター

調査期間・海域 令和3年4月20日 豊後水道中・南部 調査船 試験船「よしゅう」

1 表面水温および透明度(表1、図1)・・・水温は南部でやや低め、透明度は中部・南部で低め 豊後水道中部(Stn.1~3 及び Stn.7)および豊後水道南部(Stn.4~6)の表面水温は、それぞれ 17.2 ~19.0℃(平均 18.1℃ 近年値 17.9℃)、18.6~19.3℃(平均 18.9℃ 近年値 19.4℃)で、近年値と比べて 中部で平年並み、南部でやや低めであった。

透明度は、中部では 12.0~16.0m(平均 14.0m 近年値 16.3m)、南部では 15.0m(近年値 16.9m)で、近年値に比べ中部・南部ともに低めであった。

2 流れ藻の分布(図 1)・・・中部で多く、南部で少ない。

調査時の流れ藻視認個数は 2.2 個/10 マイル(中部 4.1 個/10 マイル、南部 0.4 個/10 マイル)で、近年値 1.5 個/10 マイルを上回った。採取した流れ藻の重量は平均 10.5 kgで、近年値の 18.8kg より小さかった。

3 モジャコの採捕状況(表1)・・・・モジャコの数は少ない。(156 尾/調査日) 採捕尾数は合計 156 尾(中部 155 尾、南部 1 尾)で、近年値の 239 尾を下回った。 流れ藻 1kg 当たりのモジャコ採捕尾数は 1.5 尾/kg(中部 1.6 尾/kg、南部 0.2 尾/kg)で、近年値の 4.4 尾/kgを下回った。モジャコ以外の魚種はメバル属 2215 尾、カサゴ亜目 4 尾、アイナメ 4 尾、クジメ 5 尾、ニジギンポ 1 尾、ボラ 10 尾、ヒメジ類 1 尾、イカ類 6 尾が採捕された。

4 モジャコの大きさ・・・近年値より小さい

採捕されたモジャコの尾叉長は平均 27.5mm(19.0~123.0mm)で近年値の 58.3mm より小型であった。

調査項目	海域	2016年	2017年	2018年	2019 年	2020年	2021年	近年値
		[4/26]	[4/20]	[4/23]	[4/16]	[4/27]	[4/20]	
水 温	中部	19.6	19.3	19.3	17.4	17.1	18.1	17.9
(°C)	南部	21.4	18.4	20.9	19.0	18.4	18.9	19.4
塩 分	中部	34.7	34.7	34.5	34.6	34.6	34.5	34.5
(psu)	南部	34.8	34.6	34.5	34.6	34.7	34.5	34.6
透明度	中部	18.0	18.6	14.5	17.3	17.0	14.0	16.3
(m)	南部	18.2	19.8	16.5	16.0	18.2	15.0	16.9
流れ藻視認個数	中部	2.6	1.3	0.0	7.4	2.7	4.1	1.8
(10マイル当たり)	南部	0.0	12.6	2.6	12.4	8.0	0.4	1.4
流れ藻採取数	中部	3	2	0	3	6	9	4.0
	南部	0	6	6	6	2	1	3.3
モジャコ採捕尾数	中部	229	135	0	6	23	155	9
(調査日数当たり)	南部	0	372	535	139	15	1	229
流れ藻 1kg 当たりの	中部	2.6	9.6	0.0	0.0	1.0	1.6	0.4
モジャコ採捕尾数	南部	_	1.4	14.9	0.6	0.5	0.2	5.3
モジャコ平均	中部	26.2	52.5	-	64.1	41.1	27.6	52.6
尾叉長(mm)	南部	_	38.3	57.6	30.9	78.3	20.0	58.3

表1 4月海況及びモジャコの採捕状況

^{*}近年値:4月(2018-2020)の調査における過去3年間平均

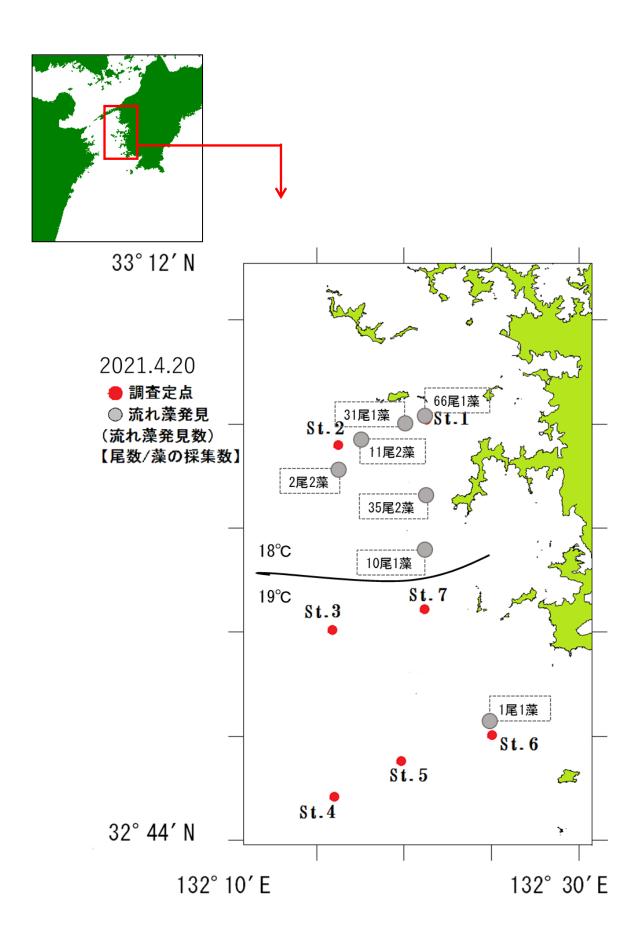
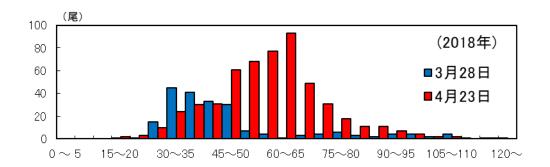
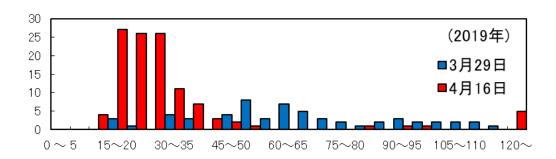
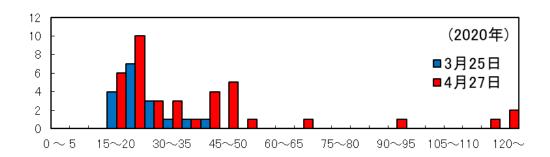


図 1 漁場一斉調査(もじゃこ調査)定点図







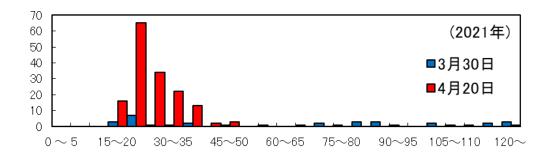


図2 採捕年別モジャコ体長組成



参考資料 採捕されたモジャコの写真